

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年8月28日～9月3日)

平成 26 年(2014 年)9 月 5 日

H E A D L I N E S

政治

トウスク首相の後任人事の調整進む
ポーランド外務省、ウクライナ東部情勢の激化に関する声明を発表
ポーランド当局、ロシア国防相の搭乗する航空機のポーランド領空通過を拒否
トウスク首相、次期欧州理事会議長に選出される
シェモニャク国防相、中国国防部長と会談
ポーランド政府、ビエンコフスカ副首相兼インフラ開発相を欧州委員候補として提案

経済

政策金利は2.5%を維持
政府が2015年予算案を承認
第2四半期の経済成長率は3.3%
8月のPMIは49.0ポイント
8月の倒産は62件
7月の輸出は増加
2014年第一四半期のポーランド大企業の収益
家電リサイクルの新たなシステムを検討
政府と鉱山労組が協議
コンパニア・ヴェングロヴァ社は分割されるのか？
北西部油田調査でPGNiG社とロトス社が協力

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
大使館広報文化センターの開館時間について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出について

政 内	治 政
-----	-----

トウスク首相の後任人事の調整進む【9月2日～3日】

8月30日にトウスク首相が欧州理事会議長に選出されたことを受け、9月2日、キダヴァ＝ブウォンスカ政府報道官は、次期首相の任命の見通しに関し、9月末までに新しい首相が決定しているはずである、(遅くとも)10月には確実に決定しているであろう旨

述べた。

9月3日、与党・市民プラットフォーム(PO)は、党としてコパチ下院議長を次期首相に推薦することを決定した。なお同日、右決定に関連して、コモロフスキ大統領は、POによる推薦は大統領の(首相任命に関する)決定を拘束するものではない旨述べている。

外 政

ポーランド外務省、ウクライナ東部情勢の激化に関する声明を発表【8月29日】

8月29日、ポーランド外務省はウクライナ東部情勢の激化に関する外務省声明を発出し、ロシア領からウクライナ領へのロシア軍兵士の侵入の拡大に対する断固たる反対姿勢を表明した。また、同声明では、ロシアのウクライナに対する行動が国連総会決議3314の定義する侵略の特性を満たす行動であるとの認識を示した。

ない妥協の形成である、ポーランドの遺産及び自身の経験はEUが必要とするエネルギーの重要な源となり得る旨述べた。また、同首相は、ウクライナ情勢に関し、EUのウクライナ紛争に関する立場は勇敢でなければならないが、急進的であってはならない旨述べた。トウスク首相は12月1日に欧州理事会議長に正式に就任予定。

シェモニャク国防相、中国国防部長と会談【9月2日】

9月2日、シェモニャク国防相は、ポーランドを訪問中の常万全中国国防部長と会談を行い、主に両国間の防衛協力の強化及びロシア・ウクライナ紛争につき意見交換した。シェモニャク国防相は、両国は各軍にわたる防衛協力及び副大臣レベルの戦略的対話に合意した他、軍人研修における協力、若手士官の交流、ポーランドの軍指令システムの改革、国防産業の協力等について意見交換した旨述べた。

ポーランド当局、ロシア国防相の搭乗する航空機のポーランド領空通過を拒否【8月29日】

8月29日、スロバキアからロシアに向けて飛行中のショイグ露国防相が搭乗する航空機がポーランド当局によって領空通過を拒否される事案が発生した。同日、ポーランド軍作戦司令部報道官は、露国防相を乗せた航空機はスロバキアに向かう際には民間航空機として(飛行計画の)登録がなされたが、帰路においては軍用機として登録された、ロシア側は軍用機のポーランド領空通過の事前申請を行っていない旨述べ、本件拒否が技術的な問題であることを説明した。

ポーランド政府、ビエンコフスカ副首相兼インフラ開発相を欧州委員候補として提案【9月3日】

9月3日、キダヴァ＝ブウォンスカ政府報道官は、ビエンコフスカ副首相兼インフラ開発相がポーランドの欧州委員への候補である旨発表した。ポーランド政府は、シコルスキ外相を欧州委員会副委員長兼EU外務安全保障政策上級代表ポストへの候補として提案していたが、8月30日の欧州理事会においてモゲリーニ外相が同ポストに選出された。

トウスク首相、次期欧州理事会議長に選出される【8月30日】

8月30日、欧州理事会は次期欧州理事会議長にトウスク首相、外交安全保障上級代表にモゲリーニ伊外相を選出した。トウスク首相は、直後の記者会見にて、欧州理事会議長の主要な任務は絶え間の

経 済

経済・財政政策

経済省が2014年の経済予測を発表【25日】

経済省が四半期報告を発表し、2014年の年間GDP成長率予想を財務省と同様に3.3%とした。2014年前半の消費が2.5%増、投資が7.1%増となったことから、内需の寄与が大きくなると分析している。また、年間インフレ率は0.3%に下方修正され、失業率に関しては経済回復が労働市場に完全に反映されるにはまだ時間が掛かるとして12.3%と予測している。

PAIiZ は本年172の投資プロジェクトを支援【26日】

ポーランド情報・外国投資庁(PAIiZ)は、本年31企業との間で協力合意文書を交わし、172の投資プロジェクトを支援する。これらは計17億ユーロ、6,000人の雇用創出を見込んでいる。昨年は53プロジェクト、12.7億ユーロの規模で約19,000人の雇用創出となった。今回の企業の中には、グダンスクのWadakyu Europe社、ラドムスコのUnion Industires

社等も含まれている。PAIIZ の手がけたうち最もプロジェクト数の多かったのは米国企業(54プロジェクト、9.6億ユーロ)、次いでドイツ企業(35プロジェクト、

3.7億ユーロ)、英企業、仏企業(共に11プロジェクト)であった。

マクロ経済動向・統計

第2四半期の経済成長率は3.3%【29日】

中央統計局(GUS)によると、第2四半期のGDP成長率は、前年同期比で第1四半期の同3.4%より僅かに減速した3.3%となった。前期比では0.6%増。先日発表した予測速報値の前年同期比3.2%を上昇修正する結果となり、投資は前年同期比で8.4%増、国内需要が同5.1%と大きく寄与している。

8月のPMIは49.0ポイント【1日】

8月の購買担当者景況指数(PMI)は、7月の49.4ポイントから低下した49.0ポイントとなった。これで6カ月連続の低下となり、単月では2008年以来で最大の低下幅となっている。新規受注の減少幅は小さくなっているものの、いよいよ鉱工業生産の減少に反映されてきており、今後も一定期間はPMIは低調になると見られている。

8月の倒産は62件【2日】

8月の倒産件数は、前年同月の66社より減少した62社となっている。累積額は6億ズロチで、600人が解雇された。また、1月～8月までの倒産件数は559社で、前年同期の647社より大幅に減少している。但し、サービス産業が現在不振であり、今後食料品産業も影響を受けると見られている。

7月の輸出は増加【3日】

7月の輸出は、前年同月比4.9%増、前年比1.2%増となる138億8千万ユーロとなった。ズロチ建では、前年同月比1.7%増、前月比1.4%増となる575億2千万ズロチ。夏場特7月に輸出が増加するのは珍しく、年間輸出総額は前年比で8.3%増となる1,689億ユーロ、若しくは同7.2%増となる7015億ズロチと予想されている。

ポーランド産業動向

2014年第一四半期のポーランド大企業の収益【29日】

デロイトの発表によると、2014年第一四半期における中欧500社(ウクライナを含む18か国)が平均3.1%の減益となったのに対し、集計対象となっているポーランド企業161社は平均0.7%の減益であった。ポーランド企業は、昨年の第一四半

期には前年同期比1.9%の減益であり、中欧・ウクライナの平均に比べ高いことから結果としては楽観的に見る向きもある。しかしながら、ポーランド企業の占める割合は年々低下しており、昨年の166社、企業数が低下し始めた2008年には188社が対象となっていた。

エネルギー・環境

石炭の輸出は減少【25日】

経済省の発表によれば、2014年上期の石炭輸出は430万トンで前年同期比26%のマイナスであった。Eurostat の統計では32%のマイナスとなっている。専門家は今後数年間この傾向が続くと指摘している。高い石炭採掘コストと国際市場価格の低下がポーランドの輸出に影響を与えている。2014年上期の海外からの石炭輸入が500万トンに達する中、ポーランド産石炭は国内でも海外炭と競争をしなければならない。輸入炭のうちロシア産炭の輸入は330万トンであり、オーストラリアからの輸入も増えてきている。

機関が6.6億ズロチとなる。このプロジェクトの規模は計18億ズロチとされている。カルピンスキ国有財産相は、本プロジェクトについて国内資源の開発及びエネルギー安全保障へ寄与する旨述べている。

バルト海油田開発に関する金融支援に合意【26日】

Lotos Petrobaltic 社は、ポーランド開発投資(PIR)社、BGK及びBank Pekao との間でバルト海にあるB8油田開発への金融支援に関する合意文書に署名した。拠出額はPIRが4.3億ズロチ、金融

PGEが新たな炭鉱を2018年に開発予定【26日】

ポーランド最大の電力会社であるPGE社は、2018年にポーランド西部グビンでの炭鉱開発を計画している。発電所の建設も2025年に計画されており、計画通りに進めば、2030年に同炭鉱で採掘された石炭による発電が可能となる。ただし、2016年以降に採掘許可を得ることに加え、欧州委員会の気候変動政策の動向にも影響を受けることになる。トウスク首相は本プロジェクトはポーランドのエネルギー安全保障に資するものであると述べている。

大多数のポーランド人が原発を支持【26日】

政府系シンクタンクである国際問題研究所(PISM)が今年4月に実施した原発建設プロジェクトに関する意識調査によれば、回答者の64%近くが原発建設プロジェクトに賛成し、23%が反対という結果になった。エネルギー・セキュリティの観点でまず力を入れるべきものとして、58%が再生可能エネルギーを、48%が原子力を選択する一方、シェールガスを選択したのは21%であった。技術開発の優先度について、70%が原子力以外の他の

エネルギー技術を選択している一方、原子力分野の知識についての質問については、42%が限られた知識しかないと回答している。また、この調査では、原発建設への支持が地域ごとに大きく偏っていることも明らかになっており、地元団体が反原発キャンペーンを行った地域では最も低い支持となっている。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】「国境地帯の遺産」セミナー【8月28日(木)～9月6日(土)】

クラクフにて、国際文化センター主催による『「国境地帯の遺産」セミナー』が開催されます。EUIJ東京コンソーシアムの研究者によるV4諸国の国家遺産に関する講座が予定されています。

開催場所: クラクフ、国際文化センター, ul. Rynek Główny 25

詳細: <http://www.mck.krakow.pl/page/wspolpraca-z-japonia>

【予定】日本一美しい庭園写真展【9月3日(水)～9月30日(土)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミーの植物園主催による『日本一美しい庭園写真展』が開催されます。スタニスワフ・ロシコフスキ氏撮影による日本庭園の写真が展示されます。

開催場所: ワルシャワ、ポフシン, ul. Prawdziwka 2

詳細: http://www.ogrod-powsin.pl/index_a.html

【予定】日本映画祭【9月9日(火)～11日(木)】

ワルシャワにて、ポーランド未公開の東宝映画新作5本による「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料7PLN。

上映スケジュール:

9月9日 20:00 日本映画祭オープニング

「あなたへ」(降旗康男監督, 2012年)

9月10日 18:30 「少年H」(降旗康男監督, 2013年)

20:45 「奇跡のリンゴ」(中村義洋監督, 2013年)

9月11日 18:30 「県庁おもてなし課」(三宅喜重監督, 2013年)

20:45 「プラチナデータ」(大友啓史監督, 2013年)

開催場所: ワルシャワ, 「プラハ」映画館, ul. Jagiellońska 26

詳細: <http://www.kinopraha.pl/wydarzenie/przeglad-kina-japonskiego-kinie-praha>

主催: 在ポーランド日本大使館, 国際交流基金, 映画館「プラハ」

【予定】第15回日本文化フェスティバル「Asucon」【9月13日(土)～9月14日(日)】

カトヴィツェにて、シロンスク・ファンタジー・クラブ主催による『第15回日本文化フェスティバル「Asucon」』が開催されます。日本に関する講座、ワークショップ、知識コンテスト、コスプレ、ゲーム、着付け、茶道等が予定されています。

開催場所: カトヴィツェ, Slaskie Techniczne Zakłady Naukowe, ul. Sokolska 26

詳細: <http://www.asucon.pl>

【予定】第5回オープン柔道選手権【9月13日(土)】

ジャルフ市にて、学生スポーツクラブ「Judoka Imbramowice」主催による『第5回オープン柔道選手権』が開催されます。

開催場所: ジャルフ市, Gminne Centrum Kultury i Sportu, ul. Piastowska 10a

詳細: <http://www.judoka.com.pl>

【予定】創造的交流ワークショップ「知識と理解の橋」【9月27日(土)】

ワルシャワにて、「日の出」基金主催による『創造的交流ワークショップ「知識と理解の橋」』が開催されます。日本文化と日本武道を通じた障害児との交流が予定されています。

開催場所: Dojo SOTO, ul. Karolkowa 28

詳細: <http://fundacjaawschodslonca.pl/twi2014-start.html>

【予定】第4回国際空手選手権大会 IKO ポーランドオープン「ガリツィア杯」【9月27日(土)】

レジャイスク市にて、レジャイスク極真空手クラブ主催による『第4回国際空手選手権大会 IKO ポーランドオープン「ガリツィア杯」』が開催されます。

開催場所: レジャイスク市, Hala ZSL im. B. Chrobrego, ul. M.C. Skłodowskiej 6

詳細: <http://www.karate.lezajsk.pl>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合がありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)